

第1回 横浜市泉区地域子育て支援拠点運営法人選定委員会 会議録	
日 時	令和4年11月8日(火) 15時から17時
開 催 場 所	泉区役所1階 福祉保健センター 機能訓練室
出 席 者	(委員会委員) 西委員、馬場委員、益子委員、飯澤委員、貝沼委員 小澤委員、畠委員、生田委員、金子委員、笹岡委員 (事務局) 中澤子ども家庭支援課長、加藤子ども家庭係長、黒崎子育て支援担当係長、 佐藤係員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開(傍聴者1人)
議 題	1 委員紹介 2 選定委員会について 3 定足数及び会議の公開について 4 委員長の選定及び委員長職務代理者の指名 5 泉区の子育て世帯の概要 6 地域子育て支援拠点の概要及び5か年の振り返りについて 7 募集概要及び選定スケジュールについて 8 法人選定の基準について 9 その他事務連絡
決 定 事 項	1 選定委員会委員長に西委員を選任する。 2 委員長職務代理者に馬場委員を指名する。 3 各委員は第2回選定委員会までに提案書を確認し、評価指標の事前評価を行い、第2回選定委員会におけるプレゼンテーション及びヒアリングを踏まえて評価を確定する。
議 事	1 委員紹介について <ul style="list-style-type: none"> ・ 各委員の自己紹介 ・ 事務局の紹介 2 選定委員会について <p>【事務局】</p> 資料2を基に、選定委員会の設置目的、位置づけ、担当事務、組織、委員としての注意点について説明。 3 定足数について <p>【事務局】</p> 委員定数10名中10名の出席により、委員会開催の要件として横浜市泉区地域子育て支援拠点運営法人選定委員会要綱第5条第2項に定める「委員の5分の4以

上の出席」を満たしているため、選定委員会の成立を報告。

- ・ **選定委員会の公開について**

本委員会は附属機関と位置付けられており、会議は原則公開となる。
第1回選定委員会は公開で行い、傍聴者が1名いることを確認。第2回選定委員会は法人等の具体的な情報を扱うため、法人等に不利益を及ぼす恐れがあるため、非公開とすることを説明。

4 委員長の選定及び委員長職務代理者の指名

【事務局】

横浜市泉区地域子育て支援拠点運営法人選定委員会要綱第4条第2項に基づき、委員長は委員の互選により選定する旨を説明。

委員の互選により、聖徳大学大学院兼任講師の西委員を委員長に選任。

【西委員長】

委員長職務代理者として馬場委員を指名し、了承を得る。

5 泉区の子育て世帯の概要について

【事務局】

資料3を基に、泉区の子育て資源、年齢別人口推移、転入・転出者の割合、出生の状況を説明。

6 地域子育て支援拠点の概要

【事務局】

資料4を基に、横浜市における地域子育て支援拠点の位置づけ、3つの柱、7つの機能について説明。

- ・ **5か年の振り返りについて**

【事務局】

資料5を基に、現運営法人と区役所でおこなった5年のまとめ実施概要について、成果と課題を中心として7つの機能ごとに説明。1 親子の居場所事業、2 子育て相談事業、3 情報収集・提供事業、4 ネットワーク事業、5 人材育成・活動支援事業、6 横浜子育てサポートシステム、7 利用者支援事業について各々説明。

【金子委員】

7つの事業どれも重要だと思うが、区として今後特に力を入れていく必要があると感じているのはどの事業か。

⇒ 子育て支援は地域子育て支援拠点と区役所だけでは成り立たず、区全域で支

えていく必要があると感じているため、重点的にやるべきはネットワークだと考えている。(事務局)

【生田委員】

ケアプラザも同様だが、相談を受ける立場としては気軽に声をかけられる関係づくりが大切になってくる。

相談というと、拠点に遊びに来ている親子から何気なく発せられる悩みや相談を拾っていくものと、改まって専門的な相談を受けるケースとどちらもあると思うが、拠点に求められるのはどちらか。

⇒ ひろばに遊びに来ている保護者から受ける相談がある一方、専任の横浜子育てパートナーが受ける専門的な相談もあり、どちらも拠点の重要な役割である。その上で専門的な相談に関しては、その後区役所や関係機関等へつなぐことも求められている。(事務局)

【小澤委員】

保育の現場にいて感じることは、親が子どもを育てる力が弱っている。

親子の居場所や子育て相談を行うことで拠点に集まることは良いことだが、拠点に頼り切ってしまうのもよくないのではないかと感じる。親が子どもを育てる力を養うような事業を実施していくことが重要である。

ネットワークを強化していくことで、親自身が必要な情報を調べ、自分の力で必要な支援等を受けられるようなシステムを構築することが必要ではないかと感じる。

⇒ 親が子どもを育てる力については、区役所としても課題を感じる部分がある。しかし、それを拠点がすべて受け止めて解決できるものではないため、ネットワークの力を生かしながら、地域全体でレベルアップを図っていきたい。(事務局)

【馬場委員】

地域の子育てサロンの数が少なくなっているように感じる。子育てサロンを運営していくのはやはり難しいことなのか。

⇒ どの分野においても、いわゆる地域の担い手不足が課題となっていると感じる。(事務局)

拠点に自ら出向ける方はそこまで心配ないが、来られない方をどう支援していくかが求められる。

⇒ 拠点だけではなく、地域の中で子育て支援をする場が今後より増えていくことを期待している。(事務局)

【西委員長】

ネットワーク事業アンケート「近所の人との交流を積極的に楽しみたいと思いますか」の質問に対して、そう思うの説明はいただいたが、思わないも42.5%と高く何か把握をしているか。

⇒ 思わないの回答者の中にも、挨拶程度ならできる、積極的に楽しみたいかと言うと交流までは難しいという方も含まれる。委員長の質問のとおり、思わないという方々をどうしていくかが課題と考えている。(事務局)

転入者が多いところは、人との繋がりが出来にくいから、拠点のような施設は入りやすく、オープン感があると良い。泉区をいろいろ歩いたが、すきっぷの入り口は決心を持って入らないといけなと感じる。

子育て支援サポートと子育て応援サポーターは違うのか。

⇒ 子育て応援サポーターは泉区独自の事業。横浜市子育てサポートシステムは、子育て支援拠点の事業の一つ。(事務局)

そう考えると手厚く感じられる。退職した世代を上手く子育て支援に繋ぐことができると思う。

【飯澤委員】

「近所の人との交流を積極的に楽しみたいか」のアンケート結果を聞き思うが、自治会町内会に加入しない若い方が増えている。子育て世帯も多にいる。基本単位である自治会町内会に加入すると交流等も参加しやすくなる気がする。また、子育ての情報についても入手しやすくなると思う。

【西委員】

全国的な傾向かもしれないが、地域等からの情報が得られにくい傾向があるように思う。

【馬場委員】

私の地域は自治会町内会の加入が高い。自治会町内会の必要性を説きながら加入を進めたほうが良い。

【生田委員】

地域のパパ達と話をすると自治会町内会が何をしているか知らない方が多い。電柱の電灯管理、ごみ集積所のネットや掃除の管理等、自治会町内会の方々がやっていることを知らない。

私の地区も転入が多く自治会町内会に入らない方も多いが、自治会町内会に加入

していないことで子育て支援が進まないということも違うのではないかと思う。色々な方法で情報が入り、支援につながる事が大切である。自治会町内会からの情報も大切だが、子育て支援拠点からの情報提供も大きな意味があると思う。

【小澤委員】

電子機器による情報収集の役割も大きくなっている。すきっぷもメーリングリストやインスタグラム等で、それらの情報収集に長けている世代には響いていると思う。

【馬場委員】

今は子育てが難しい時代になっていると感じる。

7 募集概要及び選定スケジュールについて

【事務局】

資料6を基に、法人募集の概要と今後の選定のスケジュールについて説明。

8 法人選定の基準について

【事務局】

資料7を基に、採点方法の仕方を説明。特に注意すべき点として、以下の内容を説明。

- ・様々な立場から多面的な意見が出ることが委員会を開催する意味であるため、評価にあたっては各委員の立場から主観的に採点を行っていただく。
- ・委員同士で協議をするのではなく、各委員が独立して判断してほしい。
- ・5か年の振り返りはあくまでも過去5年間の内容であり、評価については提案書とプレゼンによって行っていただく。
- ・最低評価基準の考え方は、総評価点数の33%に満たない場合は選定しない。

【金子委員】

事前評価と当日評価は何が違うのか。

⇒ 法人から提出された資料のみで事前評価を行い、当日のプレゼンテーションから考察し、事前評価の点数を再評価し、最終評価を行っていただく。

(事務局)

事前評価は、第2回の選定委員会に出席ができない場合に提出があったときは、その委員の点数として反映する。ただし、選定委員会の成立には五分の四の出席は必要である。(事務局)

【貝沼委員】

5か年のまとめを参考資料として、今回新たに出てくる資料を基に事業評価シー

	<p>トに点数をつけるのか。</p> <p>⇒ そうです。子育て支援拠点として目指すべき方向は法人が異なっても同じであると考えられる。5か年の課題や目標を参考として法人選定をお願いしたい。(事務局)</p> <p>【馬場委員】</p> <p>現運営法人が応募してきた場合は、新たな提案書が出てくるのか。</p> <p>⇒ そうです。仮に現運営法人が応募してきた場合は、新たに出された提案書を基に事業評価シートの点数をつけていただく。(事務局)</p> <p>事業評価シートの事務局評価は、私たちも行うのか。</p> <p>⇒ 財務状況等の事務局評価の部分は、区で行う。(事務局)</p> <p>私たちが評価する部分は、300満点となるのか。</p> <p>⇒ そうです。皆様が各々評価した点数に事務局評価点数を足したものが、各々の総評価点数となる。(事務局)</p> <p>【生田委員】</p> <p>あくまで5か年の振り返りは参考でよろしいのか。</p> <p>⇒ そうです。(事務局)</p> <p>事業評価シートはデータで欲しい。また、リモートの参加はできるのか。</p> <p>⇒ 事業評価シートはデータで送ることは可能。リモート参加は確認を行う。(事務局)</p> <p>【事務局】</p> <p>皆様のいろいろな立場を鑑みていただき、各々の主観で点数をつけていただきますので、点数のすり合わせは一切行いません。</p> <p>評価方法等について不明な点があれば、事務局に直接お問い合わせを。</p> <p>9 その他事務連絡</p> <p>【事務局】</p> <p>他区の地域子育て支援拠点の見学会及び次回の選定委員会の日程について確認。</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>1 配布資料</p> <p>(1) 横浜市泉区地域子育て支援拠点運営法人選定委員名簿</p> <p>(2) 横浜市泉区地域子育て支援拠点運営法人選定委員会について</p> <p>(3) 泉区の子育て世帯の概要</p>

- (4) 横浜市の地域子育て支援拠点の概要
- (5) 泉区地域子育て支援拠点事業5か年度の振り返り
- (6) 募集概要及び選定スケジュール
- (7) 運営法人選定委員会 評価指標

2 別冊資料

- (1) 横浜市泉区地域子育て支援拠点運営法人募集要項及び提案書様式（抜粋）
- (2) 令和5年度横浜市泉区地域子育て支援拠点事業仕様書（案）
- (3) 横浜市泉区地域子育て支援拠点事業実施要綱
- (4) 横浜市泉区地域子育て支援拠点の運営者の選定に関する要綱
- (5) 横浜市泉区地域子育て支援拠点運営法人選定委員会要綱

3 特記事項

今回は令和4年12月12日（月）14時から、泉区役所1階福祉保健センター
母子健康相談室で開催予定。